

「うやまい（敬い） えがお（笑顔）で しょうじき（正直）に」 第 7 号

う え し ょ う 便 り

令和 8 年 8 月 3 1 日
文責 校長 山本祥博

身につける3つの力「やってみる心（挑戦）」「思いやりの心（協力）」「がんばりぬく力（自律）」

あたり前に感動 あたり前に感謝

登校時刻になると日差しも強くなり、額に首に大粒の汗を浮かばせ、少し大きくなったかな？と感じる子供たちの元気のいい「おはようございます。」が校門前に谷合坂に響き渡ります。長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。いかがお過ごしでしたか。始業式ではたくましくなった子供たちに以下のことを話しました。

- | |
|-------------------------------------|
| 1 いのちを大切にしてください。 2 何か一つがんばりぬいてください。 |
|-------------------------------------|

これは、夏休みに入る前に子供たちと交わした2つの約束です。話の最後に、「8月28日に元気に会いましょう。」と伝えていました。そして迎えた2学期始業式、夏休み中の事故やけがもなく、1名の転入生を加え、全員の顔を見ることができました。あたり前のことかもしれませんが何より嬉しいことでした。「夏休みに何かがんばりぬいたことはありますか？」という問いかけにもたくさんの手が挙がりました。

今回は、「令和8年熊本地震」について、八代市に住んでいる元山先生から、地震発生時からこの1カ月間のことについて語ってもらいました。目の前で道路に亀裂が入っていったこと、道沿いの電柱が倒れ車をつぶしたこと、家具が倒れ、家中の物が散乱したこと、長い期間水が出ない不便さ、今まであたり前だったことが失われ一変した生活、その中でたくさんの人が応援に駆けつけてくれたありがたさ、少しずつ日常が戻ってくる喜び、そしてあたり前であることへの感動、感謝。子供達も真剣に聞き入っていました。

失われたものもたくさんあります。またいつ起こるかもわかりません。今回の「熊本地震」の経験から、2学期は、「身につける3つの力」の中の特に『思いやりの心（協力）』を大切にしてほしいと話しました。私たちにできることは、生命を大切に、人を大切に、力を合わせ、日々のあたり前に気づき、感謝して過ごすことだと思います。「安心して過ごせる家庭・地域、安心して学べる学校があること」に喜びやありがたさを感じながら、児童、職員大きな力・輪となって頑張ります。2学期もよろしくお願いいたします。

始業式前日のようす

始業式を翌日に控えた8月27日、職員室もどことなく緊張感が漂っていました。担任や保健室の先生は、遅くまで教室や掲示板を整え、黒板にメッセージを書き、2学期スタートのチェックをしながら子供たちを迎える準備をしていました。担任以外の先生も猛暑の中、汗だくになりながら何時間も校庭や運動場の整備をしていました。どの先生からも「始業式では子供たち全員の元気な顔が見たい。2学期も思い出に残る学期にしたい。」という思いがあふれていました。



※学校HPにはカラーで掲載しています。どうぞご覧ください。